

千葉県医師修学資金貸付制度の概要

1 制度の概要

	長期支援コース	ふるさと医師支援コース	集中支援コース
貸付対象 募集人数	千葉大学医学部生：20名 日本医科大学医学部生：3名 順天堂大学医学部生：4名 帝京大学医学部生：5名 東邦大学医学部生：5名	10名 千葉県出身者で、県外の大学医学部に入学した者	※平成26年度より新規募集停止
貸付金額	○国公立大：月額15万円 ※平成25年度末時点で既に貸付けを受けている者は終了時まで20万円を継続。 ○私立大：月額20万円 ※平成26年度末時点で既に貸付けを受けている者は終了時まで30万円を継続。	月額15万円 (国公立大・私立大共通)	月額5万円 ※平成25年度末時点で既に貸付けを受けている者のみ
貸付期間	正規の修学期間を経過するまでの期間		
診療科	指定なし		内科、外科、産科、産婦人科、小児科、麻酔科、救急科のいずれか
返還免除	医師免許取得後、貸付期間の1.5倍の期間、知事が定める病院に勤務したとき		医師免許取得後、4年間、知事が定める病院に勤務したとき
返還の猶予期間	医師免許取得後、最大で4年間 (出産や育児等での休暇、大学院博士課程への進学、他県での臨床研修、海外留学などが可能。)		原則なし
キャリアアップ支援	各大学での支援のほか、「千葉県地域医療支援センター」の専任医師であるキャリアコーディネータが、医師としてのキャリア形成を支援 また、専門医の取得などが図れるよう配慮		

2 貸付状況(平成27年4月時点)

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	在学者	卒業者	貸付取消
千葉大学	長期	20	15	11	13	16	11	86	9	1
	集中			3	7	6	4	20	4	1
順天堂大学		4	1	1	1	1	1	9	-	-
日本医科大学		3	3	3	3	3	1	16	-	-
帝京大学		5	4	4	2	1	-	16	-	2
東邦大学		5	-	-	-	-	-	5	-	-
ふるさと		10	6	3	1	-	-	20	-	-
合計		47	29	25	27	27	17	172	13	4

※千葉大学には学士編入学(3年生)が含まれている。

※卒業者13名については、初期臨床研修1年目が9名(県内病院7名、県外病院2名)2年目が3名(県内病院3名)、後期臨床研修が1名(県内病院)である。

※貸付取消理由は、留年を重ねたため1名、義務年限で就業する病院と希望する進路が不一致のため1名、退学2名

義務年限中の勤務について

1 長期支援コース及びふるさと支援コース

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
県内初期臨床研修		① 後期研修（4年間） + ②地域の病院（3年間）						

※1 学士編入者（3年次入学）は義務年限6年間で、うち2年間を地域の病院に勤務する。

※2 県内初期臨床研修

マッチングによる対応とし、県内の臨床研修病院を選択する。

（県外病院を選択した場合は、義務年限には算定されない。）

※3 後期研修

受給者が専門医や学位を取得するなど、医師としてのキャリアアップを図るための期間として、後期研修プログラムを有する県内の病院から、受給者が希望する病院を選択する。

※4 地域の病院

「医師修学資金受給者配属先選定会議」で決定し、受給者は以下の病院リストより、希望する就業先病院を選択する。

千葉医療圏	千葉市桜木園		大網白里市立国保大網病院	
東葛南部 医療圏	市川市リハビリテーション病院	山武長生夷隅 医療圏	さんむ医療センター	
	船橋市立リハビリテーション病院		東陽病院	
	柏市立柏病院		公立長生病院	
	松戸市立福祉医療センター東松戸病院		いずみ医療センター	
香取海匝 医療圏	千葉県立佐原病院	安房医療圏	東千葉メディカルセンター	
	国保多古中央病院		鋸南町国民健康保険鋸南病院	
	国民健康保険小見川総合病院		南房総市立富山国保病院	
	東庄町国民健康保険東庄病院		鴨川市立国保病院	
	銚子市立病院		君津医療圏	国保直営君津中央病院大佐和分院
	国保匝瑳市民病院		市原医療圏	千葉県循環器病センター

2 集中支援コース（※平成26年度から新規貸付は行わない。）

1年目	2年目	3年目	4年目
県内初期臨床研修		後期研修（特定診療科）	

※1 県内初期臨床研修病院

マッチングによる対応とし、県内の臨床研修病院を選択する。

※2 後期研修（特定診療科）

特定診療科に係る後期研修プログラムを有する県内の病院で、特定診療科に従事する。（内科・外科・小児科・産婦人科・産科・救急科・麻酔科）

医師の確保見込みについて（各年4月時点・人）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	計
千葉大	1	3	9	15	22	21	15	13	20	20	20	10	10	179
順大	-	-	-	1	1	1	1	1	4	4	4	4	4	25
日医大	-	-	-	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	28
帝京大	-	-	-	-	1	2	4	4	5	5	5	5	5	36
東邦大	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	25
ふるさと	-	-	-	-	-	1	3	6	10	10	10	10	10	60
合計	1	3	9	17	27	28	26	27	47	47	47	37	37	353

千葉県医師修学資金貸付制度 (長期支援コース)のご案内

対象となる方	大学において医学を履修する課程に在学し、将来、千葉県内の病院において医師の業務に従事しようとする者
貸付人員	千葉大学 20名
貸付金額	千葉大学 月額15万円
貸付期間	正規の修業期間を経過するまでの期間 (通常1年次4月から、6年次3月までの6年間です。学士編入の場合は、3年次4月から6年次3月の4年間となります。)
貸付方法	貸与決定後、本人名義の預金口座に、毎月25日を目安に振り込みます。 (*振込日は予定ですので、変更となる場合があります。)
申請方法	本制度の申請は、大学の推薦を受けた方が行うことができます。 大学内での応募手続きや選抜方法等については、大学にお問い合わせください。 【必要書類】 (1) 修学資金貸付申請書 (2) 誓約書 (3) 推薦書 (4) 連帯保証人の印鑑証明書(2名分) (5) 健康診断書 ※ 連帯保証人には、独立の生計を営み、修学資金の返還の支払いの責任を負うことができる資力を有する者(2名)が必要です。申請者が未成年の場合、1名は法定代理人(親権者等)でなければなりません。
返還免除	医師免許取得(卒業した日から1年3か月以内)後、貸与期間の1.5倍に相当する期間(以下、義務年限といいます。)、県内の知事が定める医療機関に勤務したとき
返還の猶予期間	医師免許取得後、最大で4年間 (出産や育児等での休暇、大学院への進学、他県での研修、海外留学などが可能です。)
キャリアアップ支援	各大学での支援のほか、「千葉県地域医療支援センター」の専任医師であるキャリアコーディネータが、医師としてのキャリアアップを支援します。 また、専門医の取得などが図れるよう配慮していきます。
その他	地域医療体験セミナー、意見交換会、定期的な面談等の開催を予定しています。
選考書類及び申請書類提出先	〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学医学部 学部学務係 電話：043-226-2011 FAX：043-226-2502 E-mail：sae5035@office.chiba-u.jp
募集内容等問い合わせ先	〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1 千葉県健康福祉部 医療整備課 医師・看護師確保推進室 医師修学資金担当 電話：043-223-3883 FAX：043-221-7379 E-mail：d-chibank@mz.pref.chiba.lg.jp

■ 大学卒業後の勤務先について（例） （6年間貸与を受けた場合⇒義務年限9年間）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
勤務先	① 初期臨床研修		②後期研修 ・ ③「地域の病院」での勤務						
	千葉県内の臨床研修指定病院		② 後期研修プログラムを持つ千葉県内の病院 ③「地域の病院」【3年間】（後期研修として勤務することも可能）						

■ 大学卒業後の勤務先

（1）初期臨床研修

医師臨床研修マッチング協議会の定めた手続きによる対応とし、基本的に千葉県内の臨床研修病院を選択してください。千葉県外の臨床研修病院で実施する場合には、義務年限に算定されず、猶予期間内の扱いとなります。平成27年3月現在、県内には基幹型臨床研修病院が37病院あります。

【千葉県内の臨床研修病院】

千葉大学医学部附属病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、日本医科大学千葉北総病院、帝京大学ちば総合医療センター、千葉医療センター、千葉東病院、県立病院群（千葉県がんセンター）、千葉市立青葉病院、千葉市立海浜病院、千葉メディカルセンター、千葉中央メディカルセンター、千葉県済生会習志野病院、津田沼中央総合病院、谷津保健病院、東京女子医科大学附属八千代医療センター、船橋市立医療センター、千葉徳洲会病院、船橋二和病院、船橋中央病院、国立国際医療研究センター国府台病院、東京歯科大学市川総合病院、国保松戸市立病院、千葉西総合病院、新東京病院、新松戸中央総合病院、名戸ヶ谷病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、東葛病院、小張総合病院、成田赤十字病院、聖隷佐倉市民病院、東邦大学医療センター佐倉病院、旭中央病院、亀田総合病院、君津中央病院、千葉労災病院、東京ベイ浦安市川医療センター

（2）後期研修（専門性に関する研修）

「地域の病院」での勤務期間以外の義務年限中は、専門医を取得するなどのキャリアアップを図るため、後期研修プログラムを有する県内病院から勤務先を選択できます。なお、その病院数は、平成24年11月現在、136病院です。（社団法人日本専門医制評価・認定機構より）

（3）「地域の病院」での勤務

義務年限中に少なくとも3年間勤務します。学士編入者（貸付期間4年間）の場合は、2年間とします。県が定める「地域の病院」のリストから、ご本人の希望と病院側のニーズを踏まえて、就業先を決定します。なお、「地域の病院」は、医療需要や病院の実情、あるいは本人のキャリアアップを考慮し、適宜検討することとします。

（県立病院）

佐原病院、循環器病センター

（市町村立・一部事務組合立病院等）

千葉市桜木園、市川市リハビリテーション病院、船橋市立リハビリテーション病院、柏市立柏病院、東松戸病院、国保多古中央病院、小見川総合病院、東庄病院、銚子市立病院、匝瑳市民病院、国保大網病院、さんむ医療センター、東陽病院、公立長生病院、いすみ医療センター、鋸南病院、富山国保病院、鴨川市立国保病院、君津中央病院大佐和分院、東千葉メディカルセンター

地域の22病院の概要

出典 千葉県病院名簿 (H27.4.1) 千葉県健康福祉部医療整備課

No.	病院名 (設置者)	住所	許可病床数	診療科目
1	千葉市桜木園 (千葉市)	千葉市若葉区桜木8-31-15	一般55	内、小
2	市川市リハビリテーション病院 (市川市)	市川市柏井町4-229-4	一般100	内 消 整 リハ 歯
3	船橋市立リハビリテーション病 院 (船橋市)	船橋市夏見台4-26-1	療養200	リハ
4	柏市立柏病院 (柏市)	柏市布施1-3	一般200	内、神内、呼内、消内、循内、外、整、泌、眼、 リハ、放、麻、内分泌・代謝内科、肝臓内科、 小、腎臓内科
5	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院(松戸市)	松戸市高塚新田123-13	一般198	内、精、神内、呼内、外、整、泌、婦、眼、耳、リ ハ
6	千葉県立佐原病院(県)	香取市佐原イ2285	一般241	内、神内、呼内、消内、循内、小、外、整、脳、 小外、皮、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、歯、麻、 精、心、形
7	国保多古中央病院 (多古町)	香取郡多古町多古388-1	一般110、療養56	内、小、外、整、皮、泌、リハ、放
8	国民健康保険小見川総合 病院(香取市東庄町病院組 合)	香取市南原地新田438	一般170	内、循、小、外、整、脳、皮、泌、産婦、眼、耳、 リハ、放、歯
9	東庄町国民健康保険東庄 病院(東庄町)	香取郡東庄町石出2692-15	一般32、療養48	内、小、整
10	銚子市立病院 (銚子市)	銚子市前宿町597	一般200、療養 23、結核20、精神 107	内、外、整、泌、眼、小、麻、放、リハ
11	国保匝瑳市民病院 (匝瑳市)	匝瑳市八日市場イ1304	一般157	内、呼内、消内、循内、外、整、脳、皮、泌、 眼、耳、リハ、放、麻、老年内科、消化器外科、 精
12	大網白里市立国保大網病 院 (大網白里町)	山武郡大網白里町富田884-1	一般99	内、消、外、整、皮、眼、耳、リハ、麻
13	さんむ医療センター (山武市)	山武市成東167	一般312	内、循環器内科、呼内、消内、外、小、整、脳、 耳、眼、泌、皮、小外、麻、歯口、リハ、産婦
14	東陽病院 (横芝光町)	山武郡横芝光町宮川12100	一般55、療養45	内、外、整、脳、皮、泌、婦、眼、耳、リハ
15	公立長生病院 (長生郡市広域市町村圏組合)	茂原市本納2777	一般180	内、神内、消、小、外、整、脳、皮、泌、産婦、 眼、耳、リハ、放、麻
16	いすみ医療センター (国保国吉病院組合)	いすみ市苅谷1177	一般92、療養48、 感染4	内、消、小、外、整、脳、皮、泌、婦、眼、耳、リ ハ、放、歯、神内
17	東千葉メディカルセンター (東金市、九十九里町)	東金市丘山台3-6-2	一般230	内、消内、神内、呼内、循内、代謝・内分泌内 科、小、外、心、整、脳、形、皮、泌、産婦、眼、 耳、リハ、放、麻、精、歯口、救急科
18	鋸南町国民健康保険鋸南 病院(鋸南町)	安房郡鋸南町保田359	一般32、療養34	外、内、眼
19	南房総市立富山国保病院 (南房総市)	南房総市平久里中1410-1	一般35、療養12、 感染4	内、呼、消、外、整、肛、リハ
20	鴨川市立国保病院 (鴨川市)	鴨川市宮山233	一般52、療養18	内、外、整、小、歯、神内、呼内、泌、眼、耳、 歯口、皮、循内、リハ
21	君津中央病院大佐和分院 (君津中央病院企業団)	富津市千種新田710	一般36	内、神内、循内、小、外、整、皮、泌、眼
22	千葉県循環器病センター (県)	市原市鶴舞575	一般220	内、神内、呼内、循内、小、外、整、脳、心、 皮、眼、耳、リハ、歯、麻、腎内、放

千葉県地域医療支援センター (千葉県医師キャリアアップ・就職支援センターとの関係)

組織

【センター長】 古元・県保健医療担当部長
 【副センター長】 高岡・県医療整備課長
 田邊・千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター長

事業

千葉県地域医療支援センター

県直営事業

- ① 医師不足状況等の把握・分析
 - ・必要医師数実態調査
 - ・医師・看護職員長期需要調査 など
- ② 医師不足病院の支援
 - ・千葉県医師修学資金
 - ・医師不足病院医師派遣促進事業 など

千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター

委託事業

NPO
 千葉医師研修支援
 ネットワーク

- ③ 医師等のキャリア形成支援
 - ・医師修学資金を受けた医学生・医師の面談
 - ・初期研修医合同研修会の開催 など
- ④ 情報発信と相談等への対応
 - ① 民間の臨床研修病院合同説明会への参加
 - ② 後期研修プログラムの情報発信 など
- ⑤ 地域医療関係者との協力関係の構築
 - ・千葉県地域医療支援センター運営委員会
 センターの運営方針及び事業内容の検討 など
 - ・医師修学資金受給者配属先選定会議
 修学資金受給者の配置基準の検討 など

医師修学資金受給者配属先選定会議

(修学資金受給者の配置基準、キャリア形成支援について検討する会議)

区 分	団 体 名	備 考
大 学	国立大学法人千葉大学医学部	
"	(学) 順天堂大学医学部	
"	(学) 日本医科大学医学部	
"	(学) 帝京大学医学部	
"	(学) 東邦大学医学部	
県医師会	(社) 千葉県医師会	
関係医療機関	(公社) 全国自治体病院協議会千葉県支部	
"	(一社) 千葉県民間病院協会	
"	(一社) 日本病院会千葉県支部	
"	千葉大学医学部附属病院	
センター	千葉県地域医療支援センター	

平成 27 年度地域医療体験セミナーの概要

1 目的

医学生が、県内の地域医療現場の視察や交流を通じて、地域医療の現状や果たしている役割についての理解を深める。

2 開催日

平成 27 年 8 月 20 日（木）～ 21 日（金） 1泊2日

3 対象者

主に、千葉県医師修学資金の貸付を受けている医学生

4 応募者

29名

5 参加者の状況

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
千葉大学	4	3					7
順天堂大学	4					1	5
日本医科大学	1			3		1	5
群馬大学				1			1
日本大学		1					1
北里大学		1					1
合計	9	5	0	4	0	2	20

※応募者 29 名のうち抽選等により 21 名を参加対象者とした。参加者対象者のうち 1 名は欠席。また、参加者 20 名の性別は男 14 名、女 6 名

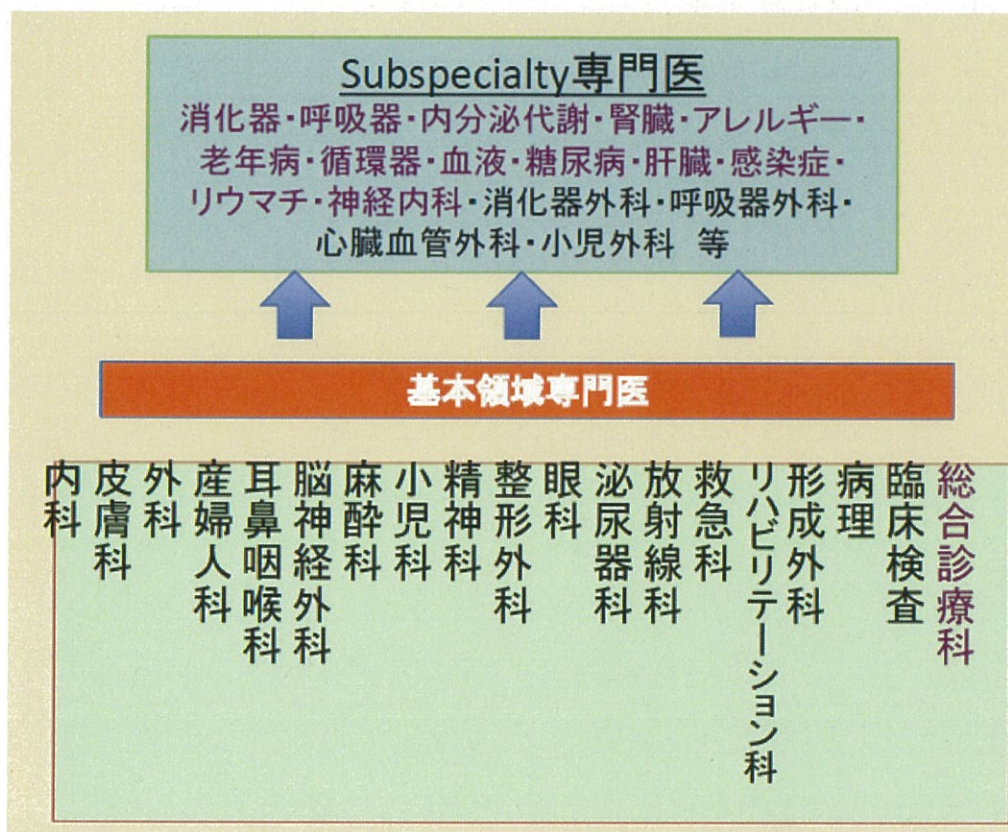
6 セミナーの内容

開催場所：いすみ医療センター（いすみ市）

	内容
1 日目	①全体レクチャー 夷隅地域の「地域包括ケア～24時間ネットワーク～」について ②訪問診療・訪問看護体験 ③いすみ医療センター及び関連施設見学 ④退院調整体験
2 日目	①訪問診療・訪問看護体験 ②いすみ医療センター及び関連施設見学 ③退院調整体験 ④セミナーの振り返り・まとめ



1 新たな専門医制度の枠組み



出典:厚生労働省「新たな専門医の仕組みに関する都道府県説明会」資料 H27. 8. 7

2 新専門医制度開始までのタイムスケジュール

平成26年5月 (2014)	日本専門医機構創設
平成26年～27年 (2014～2015)	専門医制度整備指針に基づき各基幹研修施設で基本診療領域研修プログラムを策定、指導医資格(暫定を含む)の基準策定。新しい更新基準に従い、学会認定専門医の更新作業の準備。
平成28年 (2016)	初期臨床研修医(2年目)への基本診療領域研修プログラムの提示、専攻医登録の開始
平成29年 (2017)	新制度による後期研修開始
平成32年～33年 (2020～2021)	新制度の専門医認定

出典:厚生労働省「新たな専門医の仕組みに関する都道府県説明会」資料 H27. 8. 7

県内病院の新たな専門研修プログラムの作成状況

平成27年11月1日現在 千葉県健康福祉部医療整備課調査

1 作成予定状況

	作成予定	作成しない	未定	未回答
全病院(285)	65	61	46	113
大学病院及び初期臨床研修病院(37)	32	0	4	1
千葉県医師修学資金22地域病院	9	4	9	0

2 作成予定と回答した病院の専門研修プログラム作成状況

基本領域	基幹施設			連携施設		
	全病院	大学病院及び初期臨床研修病院	千葉県医師修学資金22地域病院	全病院	大学病院及び初期臨床研修病院	千葉県医師修学資金22地域病院
内科	24	22	0	32	16	6
小児科	11	9	0	15	12	1
皮膚科	3	3	0	10	10	0
精神科	10	5	0	13	7	0
外科	10	10	0	36	22	6
整形外科	3	3	0	27	21	3
産婦人科	5	5	0	19	19	0
眼科	4	4	0	12	11	1
耳鼻咽喉科	3	3	0	14	14	0
泌尿器科	5	5	0	18	17	0
脳神経外科	2	2	0	20	19	1
放射線科	2	2	0	6	6	0
麻酔科	10	9	0	18	14	1
病理	5	5	0	8	8	0
臨床検査	1	1	0	4	4	0
救急科	11	10	0	9	8	0
形成外科	3	3	0	13	13	0
リハビリテーション科	3	2	0	13	10	1
総合診療科	8	5	2	9	7	1

旧制度における県内自治体病院の専門医研修施設の状況

No.	病院名 (設置者)	許可病床数	診療科目	内科	小児科	皮膚科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理科	腫瘍科	救急科	形成外科	リハビリテーション科	精神神経科	家庭医療 ※
1	千葉市立青葉病院 (千葉市)	一般314、精神50、感染症6	内 精神内 小外 皮膚 泌尿器 産婦 眼 耳 リハ 放 菌麻 腫 呼吸内 消化内 血内 癌内 病診 救 消外 腫・代内 内分並内 リ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
2	千葉市立海浜病院 (千葉市)	一般287	内 精神内 小外 産 心 眼 耳 リハ 産 婦 呼吸内 消化内 消外 小(新生児) 腫・ 代内 乳外 放治 放診 病診	○	○		○		○	○	○											
3	千葉市桜木園 (千葉市)	一般55	内 小 産																			
4	船橋市立医療センター (船橋市)	一般446	内 精神 小外 産 形 脳 呼吸外 心 皮 泌 産婦 眼 耳 リハ 放 麻 呼吸内 消化内 腫内 代内 腫和ケア 歯口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
5	船橋市立リハビリテーション 病院 (船橋市)	療養200	リハ																	○		
6	市川市リハビリテーション 病院 (市川市)	一般100	内 消 産 リハ 腫					○												○		
7	松戸市立病院 (松戸市)	一般605、感染8	内 精神内 消化内 皮膚 泌尿器 産婦 呼 外 心 小外 皮膚 泌尿器 産婦 眼 耳 リハ 放 麻 歯口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
8	東松戸病院 (松戸市)	一般198	内 精神内 呼 外 産 泌尿器 眼 耳 リハ																	○		
9	柏市立柏病院 (柏市)	一般200	内 精神内 呼内 消化内 腫内 腎内 外 産 泌 眼 リハ 放 麻 内分並 代断内 小腎内	○			○	○	○	○		○										
10	鎌子市立病院 (鎌子市)	一般200、療養23、結核20、精神107	内 小 外 産 形 泌尿器 眼 リハ 放 麻																			
11	旭中央病院 (旭市)	一般763、精神220、感染6	内 精神内 了リウ 小外 心 外 腫 産 形 リ ハ 産婦 泌尿器 眼 皮膚 泌尿器 歯口 放 腎内 血内 新内 透内 救 腫内 臨後 病診 腫・代内 消化内(四指腫) 化内 癌内 消	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
12	匝瑳市民病院 (匝瑳市)	一般157	内 呼 消化内 外 産 泌尿器 皮 泌尿器 眼 耳 リハ 放 麻				○	○														
13	千葉県立佐原病院(県)	一般241	内、精神内、呼内、消化内、腫内、小、外、産、腫、小 外、皮、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、腫、麻、腫、精、 心、形	○			○	○														
14	小見川総合病院 (安房郡市原町病院組合)	一般170	内 腫 小 外 産 泌尿器 皮 泌尿器 眼 耳 リ ハ 放 腫				○															○
15	真住病院 (真住町)	一般32、療養48	内 小 産																			○
16	多古中央病院 (多古町)	一般110、療養56	内 小 外 産 皮 泌尿器 リハ 放				○															○
17	東陽病院 (精芝光町)	一般55、療養45	内 外 産 泌尿器 皮 泌尿器 眼 耳 リハ																			○

旧制度における県内自治体病院の専門医研修施設の状況

No.	病院名 (設置者)	許可病床数	診療科目	内科	小児科	皮膚科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理科	臨床検査科	救急科	形成外科	リハビリテーション科	精神神経科	家庭医※	
18	さん心医療センター (山梨市)	一般312	内 呼内 消内 循内 小 外 整 脳 小外 皮 泌 尿 耳 リハ 歯 口 麻 産 婦				○	○		○													
19	東千葉母子カルセンター (東金市、九十九里町)	一般280	内 消内 神内 呼内 循内 代換・内分泌内 小 外 心外 整 脳外 形 産 婦 リハ 放 麻 精 救 急																				
20	大瀬病院 (大瀬白里町)	一般99	内 消 外 整 皮 眼 耳 リハ 麻	○			○																
21	公立厚生病院 (長生郡市広域市町村圏組 合)	一般180	内 神内 消 小 外 整 脳 皮 泌 産 婦 眼 耳 リハ 放 麻				○	○															
22	いすみ医療センター (国保国吉病院組合)	一般92、療養 48、感染症4	内 神内 消 小 外 整 脳 皮 泌 産 婦 眼 耳 リハ 放 備				○	○		○												○	
23	鶴川市立国保病院 (鶴川市)	一般52、療養 18	内 神内 呼内 循内 小 外 整 泌 尿 耳 皮 歯 歯 口 リハ																				
24	富山国保病院 (南房総市)	一般35、療養 12、感染症4	内 呼 消 外 整 肛 リハ																				
25	総府病院 (総府町)	一般32、療養 34	内 外 眼																				
26	君津中央病院 (君津中央病院企業団)	一般67、結核 18、感染症6	内 精 神内 呼 消 循 小 外 整 形 脳 呼外 心 小外 皮 泌 産 婦 眼 耳 リハ 放 歯 歯 口 麻 病 診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	君津中央病院大佐和分院 (君津中央病院企業団)	一般36	内 神内 循 小 外 整 皮 泌 尿 眼																				
28	千葉県看護専門学校(株)	一般220	内、神内、呼内、循内、小、外、整、脳、心、皮、眼、耳、リハ、歯、麻、腎内、放	○			○															○	

出典 日本専門医研修施設便覧2012-2013 社団法人日本専門医制評団・認定機構

※家庭医は、日本プライマリ・ケア連合会ホームページ

専門医制度整備指針(第1版) 抜粋

2014年7月 一般社団法人日本専門医機構

④ 専門研修施設の認定基準

各領域研修委員会は、次のことを考慮して、社会に明示できる専門研修施設の認定基準を定めなければならない

- ・ 専門研修基幹施設は、初期臨床研修の基幹型臨床研修病院の指定基準を満たす教育病院の水準を保証すること
- ・ 専門研修連携施設は、その専門性および地域性から当該専門研修プログラムで必要とされる施設であること(研修の一定期間に地域中小病院や大学院などを含むことも可能である)
- ・ 各領域研修委員会が必要と考える基準を含むこと
- 各専門医制度研修プログラム管理委員会に関すること
- 症例数、診療実績、指導環境、教育資源など
- 医師としての倫理性・社会性、学術活動などに関すること
- 研修内容に関する監査・調査に対応できる体制
- 施設実地調査(サイトビジット)による評価など

専門研修連携施設の認定基準の例

○専門研修プログラム整備基準（内科） 抜粋

専門研修連携施設は以下の条件を満たし、基幹施設との連携機能を勘案して、日本専門医機構内科領域研修委員会が決定する。

1 専攻医の環境

- ・臨床研修指定病院であることが望ましい。（但し必須ではない）
- ・施設内に研修に必要なインターネットの環境が整備されていること。
- ・適切な労務環境が保障されていること。
- ・メンタルストレスに適切に対処するため基幹施設と連携できること。
- ・ハラスメント委員会が整備されていること。
- ・女性専攻医が安心して勤務できるような休憩室や更衣室等が配慮されていること。
- ・敷地内外を問わず保育施設等が利用可能であること。

2 専門研修プログラムの環境

- ・指導医が1名以上在籍していること（施設の研修委員会）。
- ・研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ることができること。
- ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的で開催していることが望ましい。開催している場合には、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えていること。開催が困難な場合には、基幹施設で行う上記講演会の受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えていること。
- ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えていること。
- ・CPCを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えていることが望ましい。開催が困難な場合には、基幹施設で行うCPC、もしくは日本内科学会が企画するCPCの受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えていること。

CPC は臨床-病理検討会と言って、患者さんの診療に当たっている臨床医と、病理診断を行う病理医が集まり、症例検討を行う会です。

- ・地域参加型のカンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えていること。

3 診療経験の環境

- ・カリキュラムに示す内科領域13分野のうちいずれかの分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療していること。

4 学術活動の環境

- ・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計1演題以上の学会発表をしていること。

なお、内科領域では、診療所での経験や過疎地での診療経験も幅広い専門研修の一部であり、地域に根ざした全人的な医療の担い手としての素養を形成すると考えている。また、内科専門医としての知識や技能を得るためには、他の基本領域のローテーション研修（例：内視鏡研修、救急研修、病理研修、麻酔科研修など）や研究機関勤務も有益である。しかし、このような施設では、指導医が在籍しない可能性がある。そこで、このような指導医が在籍しない施設を特別連携施設としてプログラム内に規定し、そこでの研修を最大1年までの期間で認めることとする。特別連携施設には要件を課さないが、基幹施設のプログラム管理委員会と研修委員会とが管理と指導の責任を行うことを条件とする。

基本領域の標準研修期間別モデルキャリアプラン（想定）

1 3年間の基本領域

内科、外科、産婦人科、小児科、精神科、放射線科、救急科、リハビリテーション科、病理、臨床検査、総合診療科

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
県内初期臨床研修		①後期研修（3年間）＋ ②地域の病院（3年間） ＋③サブ後期研修（1年間）						

2 4年間の基本領域

泌尿器科、麻酔科、形成外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、眼科

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
県内初期臨床研修		①後期研修（4年間）＋ ②地域の病院（3年間）						

3 5年間の基本領域

皮膚科

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
県内初期臨床研修		①後期研修（5年間）＋ ②地域の病院（3年間） ※地域の病院での勤務が8年目からとなるため、義務年限修了は10年目となる。							

医師修学資金貸付制度に係る論点

今後、医師修学資金貸付金の貸与を受けた医師が毎年度増え、平成33年度から平成35年度までは、毎年50名程度ずつ誕生する。

また、新たな専門医制度が平成29年度からスタートする中で、医師修学資金貸付金の貸与を受けた医学生及び医師が不安に思うことなく、キャリアを形成するための支援が必要である。

- 1 医師修学資金貸付金の貸与を受けた医学生及び医師が望むキャリア形成を行えるための支援のあり方
- 2 22の地域の病院への働きかけ
- 3 医学生への医師修学資金貸付制度に関する周知活動